

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（3日目）

（令和5年9月6日 午前10時50分）

●議長（佐藤武雄） 休憩前に引き続き会議を開きます。

通告の2、小川敬史議員。

- 1、公共交通について
- 2、移住促進の政策について

議席番号3番、小川敬史議員。

◆3番（小川敬史） 議席番号3番、小川敬史です。まずはじめに、公共交通について質問します。公共交通といっても、鉄道や路線バス、ふれあいコスモス号などいろいろありますが、その中でも、しなの鉄道北しなの線について質問します。6月にしなの鉄道上田駅で脱線事故がありましたが、木製の枕木の内部が腐食しレールを固定している釘がずれ、レールの幅が広がったことによると発表がありました。しなの鉄道ではほとんどが耐久性の高いコンクリート製の枕木ですが、一部留置線に向かう路線などの多くは木製で、腐食していた枕木は30年ほど前に設置されたということです。またこの木製枕木は、全約30万本の枕木のうちの約1割に当たる3万本で、それも古間から黒姫間の一部で使われているということでした。そこでお聞きします。町側は、しなの鉄道古間から黒姫間に、この木製の枕木はどのくらい使われているかの把握はしているのか、担当課長にお伺いします。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） ご質問の古間から黒姫間ということですが、古間から黒姫間につきましては、本数につきましては詳細不明でございます。ただし、妙高高原から牟礼間ということで、信濃町管内で木製の枕木が2300本あるとしなの鉄道さんより報告を受けているところです。以上です。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） ただいまの答弁で、牟礼から妙高間に木製の枕木が2300本使われているということですが、次に脱線事故を受けしなの鉄道はさらに3万本の木製枕木のうちの6000本を24年度末までにコンクリート製にするとし、具体的に列車走行時の負荷が大きいカーブ部分は全てをコンクリート製に、また直線部分は3本に1本をコンクリート製に変えると発表がありました。他方でコンクリート製は木製より設置コストがかかり、費用は約2億円が見込まれるということです。しなの鉄道は新型コロナによる収入の落ち込みやエネルギーコスト高騰のあおりもあって23年3月期まで3期連続で営業損益が赤字

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（3日目）

となっていて、単独での対応は難しいとして、国や県、沿線市町村に財政支援を求めていると記載されていましたが、この件について、しなの鉄道から今後のコンクリート製への取替え計画について説明があったのか。また、それに伴う費用の町負担について県と沿線市町村との協議がされたのかをお聞きします。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 令和5年度の当初計画として、古間駅から黒姫駅までの間、PC枕木に変えるという事業費が6190万円、566本を更新するということで予定されておりました。費用負担につきましては、開業時負担の割合で国が3分の1、県が6分の1、しなの鉄道が3分の1、残りの6分の1について、当町がそのうちの15.9パーセントの負担で、その他の維持修繕費等を含めて今年度負担金総額が町負担867万5000円になるということで予定されているところです。以上です。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） ただいま、令和5年度で565本ですかね。町の負担としては、6190万円のうち15.9パーセント、867万5000円ということでしたが、しなの鉄道を利用する方が安全安心してできるように、町としてもできるだけ早い時期に取替えを要望するとともに、もう少し町の負担が少なくなるように県と協議するよう、よろしく願いいたします。次に黒姫駅を利用する際は、上り方面は1番線なので問題ありませんが、下り方面を利用する際は、どうしても跨線橋を上り降りしなければならず、高齢者、障がい者にとってはかなり負担になります。先日、町民の方から相談を受けたのですが、以前息子さんが骨折をしてしまい電車を利用した際、黒姫駅にエレベーターがないため非常に不便で困ったとお話がありました。過去においてしなの鉄道にエレベーター設置の要望を出しているのか伺います。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） しなの鉄道へのエレベーター設置の要望については、ちょっと把握していないところですが、過去にエレベーターの設置について検討したという記憶があります。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） 以前町民からエレベーターの設置の要望があったというお話でしたが、エレベーターの設置をする場合は費用がいくらぐらいかかるか調べたことはありますか。お聞きします。

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（3日目）

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） しなの鉄道ではエレベーターを設置する計画は今ございませんが、昨年度、千曲市の戸倉駅でエレベーターの改修というか新設がされております。その時の費用が2億6000万円、千曲市が1億6000万円、国費が約8700万円、県費が約1000万円だったと聞いているところです。以上です。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） 最近で言うと、戸倉上山田駅ですかね、エレベーターの設置費用が2億6000万円、国県の補助があるにしろ残りの費用、1億4000万円ほどが千曲市の負担ということですが、そうすると信濃町でエレベーターを設置するとすると、大変財政的に厳しい町としては、現状かなり厳しいと思います。ただ町側としても住民からの要望を把握していく必要があると思い、質問させていただきました。次に、信濃町地域公共交通計画についてお聞きします。現在、信濃町地域公共交通計画は、令和4年度から令和8年度までの5年間で計画されていて、町も現在計画に沿って進めていると思います。このところ高齢者による事故が多発していることにより、運転に自信がなくなったら、自主返納をするように促していますが、計画内の35歳以上を対象にしたアンケート調査では、運転免許を返納したいができない理由に、今の公共交通では生活ができないからという意見が全体の61パーセントを占めています。これから、高齢者人口がますます増える中で、公共交通の在り方について大事な変換期に来ていると思います。今後この計画に基づいて公共交通がどのように実施されていくのか、住民の皆様にも分かりやすいようにお願いします。その中で、主に朝夕路線バスのことと、デマンドタクシーふれあいコスモス号のことについて質問します。まずはじめに、朝夕路線バスについて伺います。信濃町地域公共交通計画内の利用者数の推移を見ると、朝夕路線バス8路線のスクール利用を除いた一般利用者数が年々減少傾向にあり、令和2年度には3420人となっています。1路線あたりの1日の平均利用者数は2名を割っており、非常に利用している方が少ない状況です。県内外でも車両を小さくして運行ルートをきめ細かくし、地域の特性に合った取組が行われていますが、朝夕路線バスについて今後運行ルートの見直しや、車両を小さくするなどの検討をしているのかお伺いします。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 路線バスおよびデマンドタクシーの利用者が少ないということですが、公共交通としてなくてはならない移動手段になります。これにつきましては、維持していくことが基本かと考えております。ただし運行には多額の予算を投入しておりますので、一部効率化についても必要でありまして、内容の見直しの検討を進めているところです。まずほとんど利用がないバス路線にあっては、路線を廃止し、タク

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（3日目）

シー助成制度の導入、それから路線の統合を検討しています。それから、路線バスのダウンサイジングにつきましても、朝夕のスクール利用の状況から、ちょっと現状では難しいところもございますが、バス車両の計画更新が必要となってきますので、教育委員会との協議をしながら進めていきたいと考えております。以上です。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） 公共交通計画内では、今後運行ルート編成、それでも利用する方が少ない場合は廃止を検討するよう計画されていますが、スクール輸送の時間以外でも、少人数でも路線バスを利用している方がいますので、タクシー補助をつけるなりそれらの方の取りこぼしのないよう対応をお願いします。次にデマンドタクシーふれあいコスモス号について質問します。ふれあいコスモス号の運行委託費は2000万円から3100万円程度で推移していますが、主に、年度ごとに運行事業への委託費用の増減が大きく影響するということですが、現在業者への委託費は1台あたり500万円程で6台分ですから3000万円ほど委託費用がかかっていますが、ここへきてガソリン代等かなり高騰しています。来年度は全体でどのくらいの運行費用がかかると予想していますか。お聞きします。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 次年度の運行費用ということですが、次年度の運行費用につきましては、運行の見直しであるとか、内容等まだ不確定要素もありまして、具体的には見通しは難しい状況です。燃料の高騰分につきましては、本年度は年度当初の契約内で収まる見込みでございます。見直しに伴う減額もありますが、次年度予約システムの更新の費用でありますとか、その他燃料費の高騰、それから一番は運転手確保への人件費増が予想されているところです。今のところ本年度同額もしくはそれ以上となるよう現段階では想定しているところです。以上です。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） 今お聞きしたように、今年度は何とか予算内で大丈夫だというお話でしたが、年々人件費等もかさみコストが上がる可能性があるということですが、ふれあいコスモス号は1便1車両あたりの利用人数が1人を割り込む場合があるが、今後効率的な運行をどのように考えているか、詳しく担当課長にお伺いします。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） デマンドタクシーでは、新たな予約システムの導入について検討を進めているところです。こちらにつきましては、電話のほかにネットの予約、そ

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（3日目）

れから移動エリアの拡大、また病院の移転などもありますので、黒姫駅から古間方面まで区間を周回する便を検討して、利便性の向上を重視した見直し検討を進めています。現公共交通計画は令和4年度から令和8年度の5年間となっておりますので、期間中に再編やシステム更新を行う予定で進めて、できるだけ早めに改善を図りたいと考えております。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） ただいまの答弁で、移動エリアを広げるといってお話がありましたが、今現在の段階でいいです。移動エリアはどのくらいまで広げるか、今検討の段階でいいので教えてください。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 黒姫駅から古間方面に周遊するようなエリアを一つ考えているところです。以上です。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） ぜひその他でも、例えば古海、富士里など外から中へ行くのはどうしても大変だと思いますので、そういったことも移動エリアを広げる際に検討のほうをお願いします。今後の運行ルートのお聞きしましたが、現行は平日朝8時から15時台まで、町中行き4便、お帰り便4便しか利用できないため、非常に使い勝手が悪く、利用者が少ないのが現状ですが、検討段階をお聞きしますと今より使い勝手が良くなると思いますので、できるだけ早い実施をお願いします。次に5月から7月までの2か月間、試験的にナイトデマンドの運行を行いました。運行状況と利用人数を教えてください。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 実証運行実験ということで、おかえりコスモス号ということで、高校生のいる全戸へご案内するなどして周知を行いました。5月22日から7月21日まで2か月間ということで、黒姫駅を発とするデマンドタクシーの実験を行ったところです。期間中につきましては、利用者が少なく4名の利用者でした以上です。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） 利用された方が4名しかいなかったようですが、その後、高校生の保護者にアンケートで意見を求めたとお聞きしましたが、どのような意見が書かれたかお伺いします。

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（3日目）

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 高校生の保護者50名にアンケート調査を実施しております。回答率は30パーセントということで、利用しなかった理由として、時間に間に合わないという。これは部活をしてくと8時の電車といたしますか、もう1本遅い電車で帰宅のケースが多い。それから親の送迎。あと実証事件を行ったのは黒姫駅発だけだったので、利用駅が黒姫駅ではないというようなものでした。以上です。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） 部活をしていて時間に間に合わないなど、アンケート結果を踏まえて要望に沿うよう対応をお願いします。最後に計画にも載っていますが、今後ふれあいコスモス号の利用促進を図るための新しい予約システムへの切り替えとキャッシュレス決済の導入についての進捗状況を教えてください。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 予約システムの構築につきましては、現在運行事業者も含めて選定の検討を進めているところです。9月の下旬頃にシステムを運行されている自治体への視察を計画しているところです。また、信濃町に合う利便性の良いシステムの選定を進めていきたいと考えています。キャッシュレス決済の導入でございますが、こちら今、県の公共交通協議会で方針を出しているところです。公共交通協議会では、地域での広域連携、それから鉄道との連携を踏まえて交通系のICカードの導入を推進していく方針でございます。ただし信濃町では、ICカードの普及はそれほど進んでいないと考えられますので、その他の決済方法も含めて検討が必要かと考えているところです。以上です。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） ただいま担当課長から答弁がありましたが、特にふれあいコスモス号の予約については、前日の15時半までに電話で予約するという形で、非常に使い勝手が悪いので、新システムへの切替えを早急をお願いします。この路線バスとデマンドタクシーを組み合わせた、新公共交通システムができてから始まって以来の大幅な変換を迎えると思います。住民にとってより使い勝手の良い仕組みを構築することを期待しています。次の質問に移ります。以前も質問しましたが、移住促進についての政策はどのように考えているのか再度お伺いします。特に、私が再三に渡って質問するのは、移住者のための住宅が足りていないからなので、早急に対応していただきたく、諦めず、しつこく、しつこく質問させていただきます。現在も信濃町へ移住を考えている方がいらっしゃいますが、1週間ほど前に空き家バンクサイトを見ても賃貸物件が一件もない状況でした。しかしこ

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（3日目）

こ数日のうちに空き家バンクサイトが更新されており、現在は賃貸物件が2個あり、そのうち、緑ヶ丘にある町営住宅が1戸、それも月額所得が15万8000円以下で単身世帯は無理などの条件付き物件です。もう1つは民間で建てられたアパートです。これについても、じきに埋まると思いますので、これでは信濃町に移住したくても住む環境が足りません。令和4年12月会議の質問で、移住促進のための町営住宅の建設や、信濃町民間賃貸住宅建設費補助の増額について質問したところ、町長の答弁では町営住宅を町が運営するという事は、建設後のメンテナンスを含めるとなかなか難しい。昨年度に2棟8戸のアパートが建設後すぐに満室になったというお話で、ニーズは非常に高いと認識している。町としても、住民税、固定資産税、地方交付税などが、増額が見込まれるので、今後補助率についても考えていくと答弁がありましたが、今、総務課まちづくり係で移住促進について非常に頑張って活動していただいておりますが、賃貸で借りて住む場所がほとんどないので、すよ、町長。せっかく信濃町を気に入って住んでみたいと思う方がいても、町として受け入れ体制が整っていないのでは信濃町に住んでください、今すぐにでもという説得力に欠けると思います。私は、人口が減っていることは信濃町だけの問題ではありませんが、このまま行くと信濃町が終わってしまうのではないかと大変危機感を持っています。特に、移住者の住宅環境の整備を早急に対策が必要だと考えます。町長、補助と増額について考えていくということでしたが、その後検討してどのようなになったかお伺いします。

●議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） ただいまの小川議員からのご質問にお答えします。昨年12月に同様のご質問をいただきました。民間事業者が新たにアパートを建設する際への町からの補助ですが、現在、補助率の嵩上げについて検討しております。その際に問題になるのは、そういう具体的な事業者がどうなのかということで、事業者をまずは把握させていただいて、その事業計画に基づいて適切な支援をやっていきたいということでもあります。また新たに、例えば特定の企業さんが社員寮を建設したいというような話も伺っております。そういうケースにあっても支援できるかな、というようなことも今検討しております。小川議員がおっしゃられるように希望する若者が、希望する住まい、それが足りていないという状況は承知しておりますので、引き続きいろんな形で応援できるように体制を整えていきたいと思っております。以上です。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） 現在、いろいろ検討しているというお話でしたが、信越病院の建設費用をみても、当然わかっていると思いますが、現在建設費が高騰しています。実際に民間の建設業者の方に聞いても、現行の補助額が、町内業者の場合1300万円、町外業者だと1000万円では到底足りない、実際に平成29年信濃町民間賃貸住宅建設費補助金を制定してから使われたのは令和3年度の1件だけで、それもかなり特殊なケースです。それを見

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（3日目）

てわかるように今の補助額では少なく、私は倍くらいあってもいいのかなと思います。実際町長、民間の建設業者などに今の補助額は妥当なのか聞いたことあるかお聞きします。

●議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） 今の小川議員からの質問の中で、民間事業者に補助額、言えば補助率に該当するのかなと思いますが、そのようなことを私はお聞きしたことはありませんが、事例から推察すると、概ね3割ぐらいの支援に相当するというようなことは前回の事例の中では伺ったところであります。ただし諸物価高騰の折、建設費のあるいは建設の形によっても、鉄骨なのか、木造なのか、そういう構造によっても、ちょっと違いが出てくるかと思しますので、そのような認識を持ちつつ支援のあり方、支援の率についてさらに検討してまいりたいかと思えます。以上です。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） 町長の答弁では、事例をもとにして支援のあり方を検討していくということでしたが、実は一般質問するにあたり近隣町村に聞いてみました。小川村では、令和4年度に村営住宅を平屋3棟3戸、2階建てアパートを1棟4戸建設し、担当課長に、なぜ村営建設を考えたのですかと質問すると、小川村は移住促進に力を入れていて、住むところがないということは恥ずかしいこと、このような受け入れ先がある、ぜひ来てくださいという意味合いで建設したと力強くお話いただきました。また、住みやすくデザインがいいことから、入居者の抽選会では希望者が殺到するというお話でした。次に隣の飯綱町では、民間への建設補助金が1200万円と信濃町よりは少ないですが、町営住宅をそれぞれ令和4年度と5年度に1棟2戸、さらに来年度の建設の予定です。このように周りの町村を見ても、人口減少に大変危機感を感じて、移住促進のための住宅整備にかなり力を入れていきます。町で建設はできないというお話でしたので、それだったら民間の力を借りて建設するためには、条件を良くしていくしかないと思うのですが、最後にもう一度、町長いかがでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） ただいま小川議員から、近隣市町村の状況についても教えていただきました。ありがとうございます。そういった事例を糧に町として最大限の取り組みを進めてまいりたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） ぜひ前向きに考えていただきたいと思えます。人口減少を食い止める

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（3日目）

ためには、移住促進の政策の中の住宅整備は必須ですので、ぜひよろしく申し上げます。次に12月会議の答弁で、リノベーションして賃貸として貸し出すことへの補助を考えていきたいという答弁がありましたが、具体的にはどのように実施するのかお伺いします。

●議長（佐藤武雄） 柄澤建設水道課長。

■建設水道課長（柄澤 豊） 既存住宅のリノベーションに対する補助ということで、今の現状について若干お話を、答弁させていただきたいと思いますが、住宅関連の補助事業につきましては、現在、町では8つほどの補助事業を制度化しているところです。代表的なもので、住宅リフォーム支援事業、住宅建築物耐震改修促進事業、克雪住宅整備事業、空き家改修等支援事業、これらは建設水道課で所管しております。総務課まちづくり企画係のほうでも、今ほどお話のあった民間賃貸住宅建築補助金、住宅取得資金利子補給金を制度化しております。リフォームという言葉とリノベーションという言葉があるのですが、本来意味は異なりますが、目的が補助事業と合致すれば補助対象となるものでございます。建設水道課で制度化している事業では、空き家改修等支援事業が小川議員のおっしゃる既存住宅のリノベーションに対する補助事業の一部が合致しているものと思いますが、十分ではないかもわかりませんが、事業の概要は、空き家の売買、賃貸、賃貸もOKです、に伴い、必要となる改修工事、それから家財撤去の一部を補助するというものです。改修工事につきましては、その空き家の修繕補修、リノベーションの位置づけでは、模様替え、一部増改築等に要する費用ということでございますが、例えば、空き家をリフォームなりリノベーションして、若者や移住者に貸す、それから売買するという場合、この空き家改修等支援事業に該当するものです。実は当初4件分を予定していたのですが、5年度予算で、予算がなくなりましたので、今回の9月補正にも追加補正をお願いをしております。枠がないようでは、町外から来られて住みたいと言っても困りますので、追加補正をお願いしたところでございます。また、住む方が改修するという場合も補助対象になります。そんな中で、比較的使いやすいように制度設計をさせていただいているところですが、新年度につきましても、実績を考慮しながら予算確保をしてみたいと考えてございますし、もしまた、予算確保の中で足りなくなれば、補正予算をお願いして増額をさせていただきたいということで当課では対応しているところでございます。

●議長（佐藤武雄） 小川議員。

◆3番（小川敬史） ただいま答弁いただきました、建設に合わせてリノベーションについても補助の検討、増額、今のままでは足りないと思いますので検討をお願いします。最後に、町として補助金を増額するということは、一時的にお金はかかると思いますが、私は未来への投資だと考えます。人口減少を食い止めるためには、移住促進の政策は私の議員生命にかけても、実現させたいと思っています。財政的に厳しいことだと思いますが、何

令和 5 年第 421 回信濃町議会定例会 9 月会議会議録（3 日目）

年後か先の信濃町を見た、移住促進のための住宅整備をただ今検討しているだけではなく、すぐにでも実行に移していただきたく鈴木町長に期待して、今回の一般質問を終わります。

- 議長（佐藤武雄） 以上で小川敬史議員の一般質問を終わります。この際申し上げます。昼食のため午後 1 時まで休憩といたします。

（終了 午前 11 時 30 分）